

学習内容を家庭生活に関連させ、家庭生活での実践を図る年間指導計画の例にはどのようなものがあるか。

1 留意点

- 題材の導入や学習過程において家庭での実践を計画的に取り入れたり、夏休みや冬休みなどを利用しての実践が出来るように題材を配置することで、学習した内容が家庭生活中で実践できるようにする。
- 学習の最初の授業においては、ガイダンスを行い、2年後のなりたい自分や成長した自分について目標をもたせる。
- 第5学年の最後の授業では、1年間でできるようになったことを振り返り、家庭生活中に生かすとともに、家族のために取り組んでみたいことを計画させる。
- 第6学年の最後の授業では、小学校での2年間の学習を振り返るとともに、中学校での学習にも興味・関心をもたせる。(新学習指導要領では、小学校と中学校の内容の体系化が図られた。)
- 2年間のまとめでは、家庭生活から地域の生活にも目を向けて実践できることを考えさせる。

2 年間指導計画例

※ 指導内容は新学習指導要領に示されたものである。

〔A 家庭生活と家族〕〔B 日常の食事と調理の基礎〕

〔C 快適な衣服と住まい〕〔D 身近な消費生活と環境〕

第5学年(全60時間)

	題材	指導内容	配慮事項
家庭生活って何だろう	はじめての家庭科(2)	A (1)	・ これまでの家庭生活を振り返り、家庭科を学習したら、どんな自分になっているだろうかを考えさせ、できるようになりたい家庭生活の内容を書かせる。
	片付け名人な私		
	チャレンジ、家庭の仕事(19)	A (2)	・ 家庭生活の仕事には、どんなものがあるか調べさせ、今まではやってもらっていたけれど自分でできるようになりたいと興味や関心をもたせる。
	家庭の仕事を調査		
	野菜料理に挑戦	B (1) B (2) B (3)	・ 食品に含まれている栄養素の働きを知り食品の組み合わせが大切だということに気付かせる。 ・ 安全面や衛生面について十分配慮するとともに、試食の際には盛り付けや配膳をきれいにし、楽しくおいしく食べるように工夫させる。
	整理・整頓に挑戦	C (2)	・ 家庭での整理・整頓について聞き取り調査などをして調べさせる。

	手縫いに挑戦	C (3)	家庭生活に役立つものを家族と相談して手縫いで作ってみる。例 なべつかみ
	わたしにも出来た家庭の仕事(1)	A (1)	- これまでに学習したことを家庭生活で実践し、工夫したことや出来た喜びなどを報告し合い、さらに学習への意欲を高める。 1学期に学習した衣食住に関する仕事の中から夏休みに実践してみたいことを計画させる。
	夏休みの家庭での仕事(1)	A (1)	夏休みに実践したことを簡単な図や表にまとめ、発表させる。
家庭生活に挑戦	野菜の料理を材料選びからやってみよう！(16)	B (3)	D (1)と関連を図り、野菜炒めに適する材料の選び方や買い方を学習させる。
		D (1)	家族全員が好む野菜炒めを作るために食べさせたい人の好みを聞き、家庭でも実践できるようにさせる。
	清潔でむだのない生活(8)	C (2)	1学期の学習や掃除を振り返り、清掃の必要性を理解させ、実践させる。
		D (1)	自分の買い物の仕方について考え、家庭で実践できることを家族と一緒に考えさせる。
	大掃除に挑戦(1)	D (2)	不要な物の活用法について家族と一緒に考えさせる。
		A (1)	これまでの学習を生かして出来るようになったことを振り返り、冬休みに家庭で実践することを計画させる。例 大掃除
	ミシン縫いでランチョンマットを作ろう！(11)	D (1)	身近な布製品を調べたり、布の違いや特性について気づき、布を購入する際に生かす。
		C (3)	ミシンでの直線縫いと手縫いで作品を製作する。
	どこまで目標に近づけたかな(1)	A (1)	1年間でできるようになったことを振り返り、自分の家庭生活で取り組めることを確認し実践する。

第6学年(全55時間)

	題材	指導内容	配慮事項
	家族と過ごす(3)	A (2) A (3)	- 自分の生活時間を見直し、自分の生活時間と家族の生活時間を比較してみる。 - 家族と一緒に過ごす時間を楽しく充実した時間にするために触れ合いや団らんを工夫させる。 - 生活時間の見直しで学習したことを振り返ることで、早寝早起き、食事の大切さに気付かせる。

より快適な家庭生活を目指して	早寝、早起き、朝ご飯(17)	B (1)	- おいしいご飯の炊き方やみそ汁の作り方について家庭での工夫について調べさせ、これまでに学習した五大栄養素と食品の体内での主な働きを生かした1食分の献立を考えさせる。 - 配膳の仕方や食器や箸の扱いなど、日常の食事に必要なマナーについて身に付けさせる。 - 自分で作成した献立を家族に見てもらいアドバイスを受けさせる。 - 学習したことを生かして休日に家族のために朝食を作らせる。 - 夏休みに実践したことを簡単な図や表にまとめ、発表させる。
	伝統的な我が国の食事	B (2)	
	ご飯とみそ汁を作ろう	B (3)	
	休日の朝食作り		
	夏休みの家庭での仕事(1)	A (1)	
	清潔で快適な衣服の着方(23)	C (1)	
	衣服の快適な着方 衣服の手洗い方法	D (2)	
	布を使って作り、活用しよう	C (3)	
	冬休みの実践活動(1)	A (1)	
	快適な住まい(8)	C (2)	
	これまでの家庭科，これからの家庭科(2) 成長した自分	A (1)	- 題材ごとの家庭での実践を振り返り，5年生の一番最初の授業で，目指した自分の目標にどれくらい近づけたのかを確認させる。 - 中学校で学習する技術・家庭科の内容に関心をもたせる。 - 家庭生活から実践活動の場を広げて近隣の人々のために役立つ活動を考えさせる。
		A (3)	

【参考文献】 文部科学省『小学校学習指導要領解説家庭編』平成20年
内野紀子他編著『小学校新学習指導要領の展開』2009 明治図書